

SETOUCHI
TRIENNALE
2013



Unaライブ

白井美穂プロデュース

音と写真の町、宇野にて

〈宇野E28〉瀬戸内国際芸術祭2013

パフォーミング・アーツ／イベントプログラム

【会場】宇野港・Una「楽彩工房」

【料金】一般1000円／バスポート提示・小中学生500円

【日程】

- 7月21日(日) ①14時 ②16時30分
- ① 佐内正史×野村佐紀子×本尾久子
- ② 瀬戸内海女×JACKIE (パフォーミング・屋外
クリストフ・シャルル+稲田光造
- 7月27日(土) 19時 伊東篤宏
- 8月3日(土) 14時 OKIBIKI 瀬戸内海女
- 8月10日(土) 17時 シニギワ
- 8月17日(土) 17時 西原尚+瀬戸内海女
- 8月24日(土) 17時 山川冬樹
- 10月12日(土) 18時 表現 Inogen
- 10月19日(土) 17時 code "M"

白井美穂プロデュース Unaライブ

宇野港のライブハウス「Una」では、夏秋会期の週末に電子音楽や自作音響装置、民俗楽器による演奏、詩やレクチャーパフォーミング、映像ダンス、テクノロジーを介在させた身体表現など、多彩なライブが行われます。現代のアーティストの表現を通して見る時代精神と、瀬戸内海の島々に息づく日本古来の風土や郷土芸能のもつ魅力とが、宇野の港で交差します。

白井美穂 80年代後半よりインスタレーション、映像、絵画、パフォーミングと多岐にわたる表現活動を行い、国内外の数々の展覧会に参加する。瀬戸内国際芸術祭では宇野港で「Unaプロジェクト」を展開し、建物屋上の空間やテント、ビデオインスタレーションによる作品などを制作。さらにライブシリーズを企画する。



Photo: Robert Frank

【会場】宇野港・Una「楽彩工房」
【料金】一般1000円／バスポート提示・小中学生500円

主催 瀬戸内国際芸術祭実行委員会
運営協力 NPO法人楽彩工房 TAMANO

●お問い合わせ
瀬戸内国際芸術祭
総合インフォメーションセンター
電話 087-813-2244

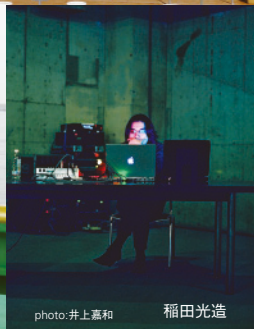
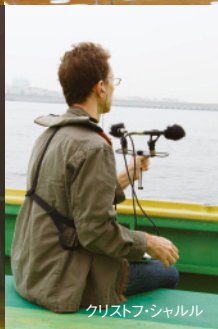
●チケット取り扱い

・e+プラス <http://eplus.jp>
(携帯電話・パソコンでアクセス&
「瀬戸内国際芸術祭」で検索)
・高松港総合インフォメーションセンター
(高松港旅客ターミナルビル1F)
・宇野港インフォメーションセンター

●アクセス

JR 宇野駅または宇野港 徒歩5〜7分





〈夏〉

7月21日〔土〕14時〜クロストーク
佐内正史×野村佐紀子×
本尾久子

7月21日〔日〕

16時30分〜17時バフォーマンス屋外
瀬戸内海女×JACKIE
クリストフ・シャルル
+稲田光造

7月27日〔土〕19時〜20時
伊東篤宏

8月3日〔土〕14時〜17時
OKIBIKI（沖啓介+Jia）
瀬戸内海女

8月10日〔土〕17時〜18時30分
シニギワ（長島寛幸+松井茂）

8月17日〔土〕17時〜18時
西原尚+瀬戸内海女

8月24日〔土〕17時〜18時
山川冬樹

〈秋〉

10月12日〔土〕18時〜
表現 hyogen
（権頭真由、佐藤公哉、園田空也、古川麦）
10月19日〔土〕17時〜
code "M"
（NAK! 岩田卓也、相川 隼）

野村佐紀子 1967年山口県下関市生まれ。90年九州産業大学芸術学部写真学科卒業。91年より写真家・荒木経惟氏に師事。おもな写真集に、94年『裸の部屋』97年『裸ノ時間』99年『闇の音』00年『愛ノ時間』02年『黒猫』05年『bakuyomi』06年『近藤良平』08年『波動』夜間飛行『里間』12年『Naked a room』Howardsなど多数。佐内正史 写真家。95年度（第12回公募）写真新世紀優秀賞受賞。常に写真の時代をリードし続け、出版した写真集は多数。02年に写真集『MADE』で第28回木村伊兵衛写真賞受賞。08年には写真集『レーベ』対照』を立ち上げ、12年7月にその第13弾『度九層』を発売するなど、精力的に活動中。本尾久子 インデペンデント・キュレーター、編集者。写真表現を多様な角度から探求し、つづけ、多彩な企画に取り組み。国内にとまらず、ヨーロッパ、アジアなどの主要都市における多数のプロジェクトを手がけ、多彩な活動を展開。写真とサウンドの街として13年より瀬戸内国際芸術祭に初参加する宇野港のプロジェクトのキュレーションを務めている。自主レーベル、アイセシヤ（Grandia）主宰。

瀬戸内海女 瀬戸内海を中心に高松、岡山、松山から集まったメンバーで構成される。今までは現代源平屋島合戦絵巻、岡山芸術回廊に出演、神出鬼没、号令とともに海女たちはどこでも行く、山を越え、海を越え、冬の寒さ、春の風も越え、仲間と声を掛け合い、助け合いを目指す。今回は香西知佳、山口佳子、湯原輝子、の選抜メンバー×JACKIEの臨む。

JACKIE 3つでも3つでもマルチな楽器たちと戯れたいと願うミュージシャン。数々のダンス、バレエ、演劇に楽曲を提供している。

Christopher Charles（クリストフ・シャルル）1964年生まれ。武蔵野美術大学映像学科教授。芸術における理論的・歴史的な研究と平行し、内外空間を問うザイン・ステレーションやコンサートを行い、バランス、独立性及び相互浸透を追求。パブリック・アート作品『大阪市住まい情報センターモニュメント（山口勝弘監修）』東京成田国際空港第一ターミナル中央アトリウム常設サウンドインスタレーションなど。

稲田光造 電子音響作家。完全に確定したコンセプトをもとに、プログラミングにより音響心理に基づき音を構築する。国内外の数々のノイズ・電子音楽の老舗レーベルより作品をリリース。また2000年を皮切りに、ヨーロッパを中心に世界各地でサウンド・インスタレーションやパフォーマンスを展開。

伊東篤宏 1980年代後半より美術家として活動を始める。98年から展覧会などでサウンド・パフォーマンスを開始し、インスタレーション作品と同素材である蛍光灯を使用した自作音具「オフトロン」を制作。数々の改良を加えつつ現代音楽のアクセントを続けている。個展やソロ・パフォーマンスのほかに、進場一郎・ドク・ラムなどの爆音・エクストリーム・オブチカル・ノイズ・イベント（Opium）など、くつぐつとでも活動中。

OKIBIKI 沖啓介（ミュージシャン+アーティスト+Jia）（ミュージシャン）が、東京と日本周辺のアジアの周縁系のライブスポットを中心に演奏。瞬間的な機能不良・クリックを粒状のサウンドのなかにとり入れながら、変則リズムのうえに電子音を組み合わせる。今回は宇野港周辺の意味／無意味に筆をサフリングして現実と音の空間に亀裂をいれいくプロジェクトに。書において筆先から墨が紙の表面に流れ出ていくように音を流しだしていく。アートだけとダンスアップル。

シニギワ 松井茂（詩人／スピーカー）と長島寛幸（音楽家／オペレーター）によるレクチャー形式のライブ・エレクトロニクス。2012年、恵比寿映像祭に出演。8thサウンド・インスタレーションに『沈黙の測定』（photographer's gallery）、『Roadside Plantic』（東京藝術大学芸術情報センター）『Roadside Plantic』は、加藤直輝（映画監督）による映像版があり、ワーク・イン・プログレスである。詩集に『沈黙の測定』（photographers' gallery, 2012）。

西原尚 音の万象を探究しているその内に社会の亀裂を知り、音を頼りに歩を進めながら音の研究、音の美術、録音、音楽制作などの活動を続ける。個展『音の杖』（2011 explosion expo）『Under3 gallery』（2011、横浜トリエンナーレ特別連携企画『BankART Life』新港村）『グループ展アートと音楽／共感覚実験劇場』（2013年、東京藝術大学大学美術館。翻訳に『サウンドアート』（フィルムアート社）木幡和枝、荏開津広と共訳）。

山川冬樹 1973年ロンドン生まれ。トウバ共和国に伝わる超絶的な歌唱法、ホーメイの歌い手として活動をスタート。心臓の鼓動の速度や強さを意図的に制御し音と光に還元するパフォーマンスや、頭蓋骨の共鳴を骨伝導マイクによって増幅するパフォーマンスなどを展開。自らの声と身体を主な表現媒体としながら、音楽、美術、舞台芸術の分野で活動している。

表現 hyogen 権頭真由（arco）、佐藤公哉（vln/vla）、園田空也（ob/vla）、古川麦（bjo/vla）4つの体、4つの楽器による音楽の箱船。05年東京芸術大学に発足。『未知の故郷』と称される音楽性を持つ。その音楽の土壌、歌われる物語の舞台として、架空／実在の島を描くプロジェクト『琥珀の島』を、写真家ダンサーなど巻き込みながら多領域に展開。今夏発表のアルバム『琥珀の島』のレコーディングは瀬戸内海島で行われた。

code "M"（こーえむ） 和楽器と西洋楽器が混在するインストユニット。東京藝大作曲科卒のNAK!が2〜6人編成で組む変幻自在な音楽集団。各楽器のトップアーティストが名を連ね、楽曲も世界の音楽要素が盛り込まれたオリジナル、ジャズ、ラテン、コンテンポラリー、古謡と幅広い。近年、国際組織、各国大使館・海外企業、各地域の音楽祭など招聘多数。

●NAK!（作・編曲・ピアノ）玉野市出身、東京藝大卒。2000年コードM発足。管弦楽、声楽、邦楽分野に多数楽曲提供。CD、DVDリリースは20枚を越える。音楽プロデューサー、ピアニストなど複数の顔を持つ。●岩田卓也（尺八）東京藝大中退。2004年長谷高校校記念コナールにて最年少で最優秀賞・文部科学大臣奨励賞を受賞。昨年国際尺八コンクール優勝。古典からジャズまでトータルなスキルリスト。●相川 隼（打楽器）東京藝大卒。2007年プロヴァイフ国際打楽器コンクールデュオ部門2位入賞。ヨーロッパ、南米、アジアなど海外公演多数。多ジャンルのアーティストと共演サポートも可能なマルチタレント。